

一 経過

(1) 労働者側

A 解決ラ慮、山本工場長ニ會見ヲ求メ或ハ穩健分子ヲ選ヒ社長ニ會見ヲ求ムル等種々方法ヲ講スルモ何レモ會見ヲ拒絶セラレ困憊ノ状況ニアリ

B 本月三日別記ノ如キビラヲ頒布セリ

(2) 事業主側

A 従来男工三十一名ノ製産能率ヲ一〇。〇トシ現在半數ノ職工能率指數一二。〇ニ上ル爲メ態度極メテ強硬ナリ

B 三月末ヨリ山本工場長病臥セル爲メ何等具體的

交渉方法ニ出テス

右及申(通)報候也

別記

再公明の諸氏の御批判を乞ふ

雲雪の空晴れ、春先地をさし梅花ほころび鳥突きの幸城南池川の一面に起りたる労働争議は既に四ヶ余日を経過すれ共現實なる山本インキ工場主の態度に於て交渉停頓志以然として暗雲低迷、危氣をほうむるを争議団は所公諸君に其の責を負ひ謝すと共に厳正なる批判を乞ひ御援助を願ひつてあります。茲々在業員は月島の大足二箇の小屋より水波町の小工場、或は大正二年大甲所に移転したる吉田時早朝より夜半に至るまで管ととて何時も休む事を惜みひたすら山本工場主の爲めにと働きが資糧刀して今日の大成就を